社会福祉法人ゆたか福祉会広報



ゆたか福祉会キャラクター
ゆたかめくんとみらいちゃん

2022
No.469

障害者のゆたかな未来をめざして 2



「冬の夜空」　ワークセンターフレンズ星崎　生活介護現場　※紹介が11ページにあります。

CONTENTS

- 寅年の今年も元気に …… P4～7
- わたしたち成人式を迎えました …… P12～14

2022年2月10日　毎月1回10日発行　一部100円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会　〒457-0852　名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3
TEL 052-698-7356　FAX 052-698-7358　http://www.yutakahonbu.com/

愛知県ファミリー・
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会　検索

第1回

障害のある仲間達の高齢化と65才問題

連載を始めるにあたって

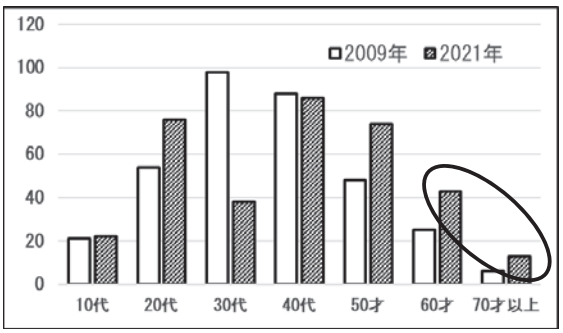
ゆたか福祉会は今年、第1号のゆたか作業所が誕生して52年目になります。初期の頃から関わっている仲間達の中には、現在も作業所で元気に活躍している人達も多くいます。一方でリタイアしたり、介護保険の事業所や福祉用具を利用し始めた人達が増えてきています。高齢期を迎えた仲間達にとって介護保険の対象となる65才問題は、やはり大きなテーマになっています。介護保険サービスへの転換で具体的に何が問題となっているのか、この間の私達の取組みを報告しながら考えたいと思います。

仲間達の高齢化の状況

ゆたか福祉会の各事業所でどのような形で高齢化が進んでいるのか、今回改めて各事業所の基礎データを取り寄せて、法人全体の仲間達の高齢化の状況を調査することにしました。このような調査は定期的に行っており、今回は2009年に行った調査結果との比較を行っています。

日中事業所での仲間達の変化

グラフ①は日中事業所（作業所）の年齢構成の変化を表したグラフです。2009年と比べて、60代以上の仲間達は31人から56人へと2倍近い人数に増えています。この期間に10代～20代の若い仲間達の利用も増えており、日中事業所は若い仲間達のグループと高齢の仲間達のグループ、2つの山が出来ていることが、データから見えてきます。2021年現在の60歳以上の比率は16％で、この数値だけを見ていると、増加傾向は顕著ですが、法人全体としてとらえると「高齢化が大きな問題」という数値には見えません。しかし次に述べる退所している仲間達の状況を加味すると、高齢化の実態が見えてきます。



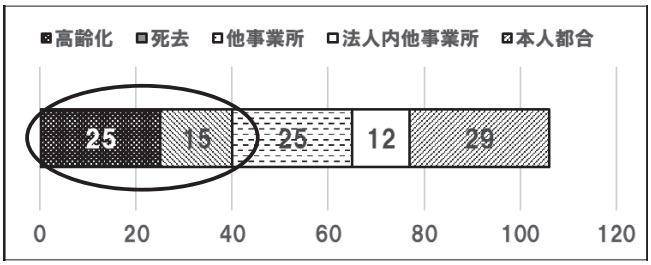
グラフ①

5年間の退所者の状況

グラフ②は2021年を基準に、直近5年間の日中事業所の退所理由を表したグラフです。この期間に日中事業所全体では106人の仲間達が退所しました。（事業所が合わなくて短期間で退所した方も含みます。）

退所理由の内訳は①介護事業所（デイサービス含む）への移行、病院・老健などへの入院等、高齢を理由とした退所が25人、亡くなられた方が15人、他事業所への移行（企業就職・就労継続A型、生活施設など）が25人、法人内の事業所異動12人、本人都合（短期で退所、引越し、不明等）29人でした。

ゆたか福祉会の多くは、開所後30年以上を経ている日中事業所です。退所者の高齢事業への

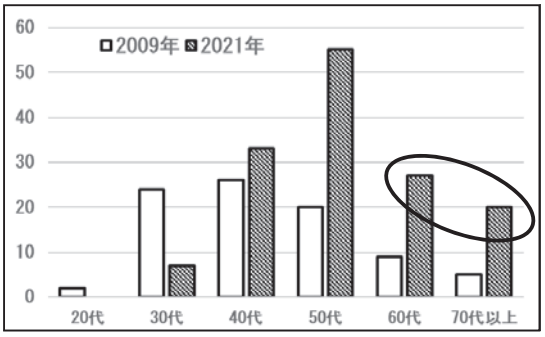


グラフ②

移行と合わせて、亡くなられる方の増加など、高齢化はこのような形で表れていると言えます。

グループホームの高齢化の状況

グラフ③は、グループホームの利用者の年齢構成の変化です。日中事業所と同じく2009年と2021年の比較を行っています。この期間にグループホームの数も増え、利用者は85人から142人に増えています。



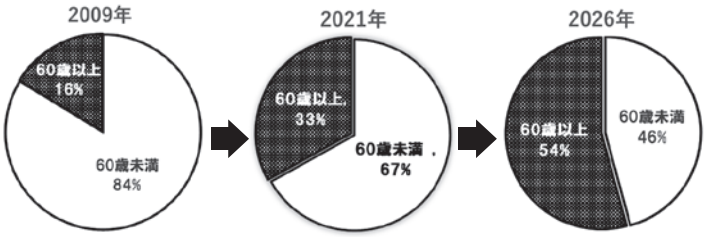
グラフ③

グラフを見て分かるように、この5年間で60歳以上の方達が14人（16％）から47人（33％）と大幅に増えています。また50代の人数も22人から55人と増えました。

グラフ④は2009年と現在との変化、合わせて5年後のグループホームの利用者の推計値を表しています。

現在の利用者が50代後半の人達の比率が高い為、5年後は全体の54％が60歳以上の利用者になることを予測する数値となっています。生活の場であるグループホームの高齢化は、日中事業所以上に顕著である事が分かります。

私達が最近整備しているグループホームは、エレベーターやスプリンクラーの設置は当たり前になり、借家やアパートを使って始めた初期の頃とは、建物も様変わりしています。現在建築中の「まーぶるホーム」には、寝浴が可能な機械浴槽を準備しています。これは高齢化に対応した建物でないと、仲間達の生活が守れなくなっている実態を表しているともいえます。



グラフ④

介護保険施設の利用状況

グループホームの利用者の基礎データから、高齢期の日中の過ごし方や介護保険の利用についても一定の数で実態が見えてきました。表①は介護保険の利用または高齢事業の利用状況です。

60歳以上の人数が47人ですが、これらの事業や制度を利用している人は19人（内50代2人）でした。今後1～2年で利用を予定しているとの回答が5人でしたので、60歳以上の約半数が利用または利用を予定していることになります。

利用者の平均年齢は69・7才、最高齢は86才、最年少は54才です。利用の内訳を見ると12人が共生型（注）・基準該当デイサービスを利用しており、介護保険のデイサービスを利用しているのは7人となっています。介護保険を利用している人の内4人は福祉用具の利用も行っています。

データからは高齢デイサービスの利用でも、共生型や基準該当の利用が多いことが分かりました。また福祉用具の利用状況も見えてきました。

今後の連載では、これらのサービスの利用状況を具体的に紹介しながら、制度の矛盾や課題を明らかにしていきたいと思います。

（注）共生型・基準該当
介護保険の事業所で障害者を受け入れるための制度

高齢事業・介護保険の利用	人数
共生型デイサービス	10
基準該当デイサービス	2
デイサービス（介護保険） ・・・内4人は福祉用具利用者	7
合　計	19

表①

寅年の今年も元気に

年末・年始の取り組み





トライズ　ちょっと豪華なお弁当＆ユニフォーム抽選会

名古屋市のビン缶回収・清掃・洗濯の３作業があるトライズ。作業の場所・時間帯も異なり、年末年始もギリギリまで作業があります。特に洗濯現場は例年大晦日まで作業を行い、年始は２日が仕事始めです。

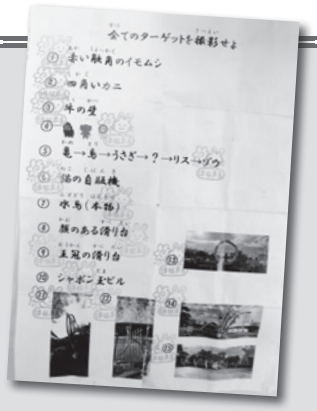
「少しでも労をねぎらいたい」という思いから、年末年始に出勤された方には豪華なお弁当をテイクアウト。みんなで大好きなお肉を味わいました。

また中部善意銀行様から寄贈いただいた名古屋グランパスのユニフォームの希望を募ったところ、仲間・職員合わせてなんと希望者が 25 名☆倍率５倍の激戦に！ 12 月 22 日に抽選会を行い、当選者は大喜びでした。

安心して、みんなで食事やスポーツ観戦に行ける日を楽しみにしています。

小関 さと子

ゆたか通勤寮



◆ウォークラリーの取り組み（12 月１日～19 日）

通勤寮周辺の元塩町から笠寺駅の間で、15 個あるチェックポイントの写真を撮ってくるウォークラリーの取り組みをしました。

早い人は２日でクリアする人もいて、「楽しい！」「もっとやりたい！」との声もありましたが、少し難しかったようで少人数での取り組みとなりました。取り組みやすい内容に改良して、第２弾を計画中です。



◆クリスマス会（12 月 19 日）

みのり共同作業所の食堂をお借りして、飲食無しでの開催となりました。利用者による手品や電子ピアノの演奏、うた、似顔絵などの出し物の発表や、利用者で企画・準備・進行を行ったグループ対抗のゲームで盛り上がりました。

昨年はコロナ禍の中で中止だったため、ほとんどの人にとって初めてのイベントでした。自由に楽しく参加され、「またやろう」の感想が沢山出されていました。

後藤 麻友香





リサイクルみなみ作業所　仕事納めの会

作業所では毎年、一年の締めくくりとして「しごと納めの会」を行っています。例年、その年の世の中や作業所での出来事を振り返り、来年の抱負を語ってもらっています。

ここ数年、年の瀬に設備の稼働状況が思わしくなく、今年も資源化優先で十分に時間が取れない中での開催となりました。コロナ禍の為、会場を２か所に分け、なかまの作業所での活躍を動画で紹介しました。「キャップ取り頑張ったね」「マスクして頑張ったね」「○○さんかっこいいね」等の声が聞かれました。

また、ウイルス感染が広がっていく様子を、なかまと職員で寸劇を交えて解説し、年末・年始の過ごし方を確認しました。年が明け、仕事始めには皆さん元気に登所されています。

前川 一広

2021年丑年もよく頑張りました！

ふれあい共同作業所　12月は楽しい行事が目白押し！

12 月 25 日は土曜開所を利用し、クリスマス会を行いました。外出を制限されているなかまたちに「外食気分を味わっていただこう！」と、スガキヤのフードトラックを依頼しました。名古屋のソウルフードだけあって、みなさん目を輝かせてラーメンをすすっていました。クリスマス創作も「かっこよく働く私」の写真を、シールなどとコラージュし素敵な作品に仕上げました。

28 日は忘年会を開催。コロナ禍で調理実習形式の鍋パーティーはできなくなりましたが、自治会役員さんが中心となって“食べたいお寿司アンケート”をとり、人気を集めた握り寿司の昼食と大掃除、正月飾り作り、ボーナス支給で一年を締めくくりました。

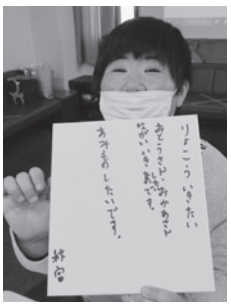
寅年もふれあい共同作業所をよろしくお願いします！　藤田 加奈

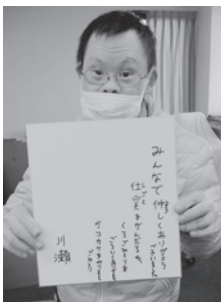




リサイクル港作業所







新年会　～コロナ感染対策とともに～

今年の新年会は、コロナ禍の下、感染対策とガイドラインに沿った企画に苦慮しました。

９月末、緊急事態宣言解除後に発足した実行委員会で、久しぶりの行事を楽しみにしていた仲間たちから、ゲーム（的当て、書初め、ビンゴ大会、かるた大会）が提案され、全体行事を企画しました。1 月に第 6 波が到来。全体企画を見送りました。

1 月 28 日 (金)、作業所の 3 つの部屋を zoom でつなぎ、年末年始繁忙期の作業状況を振り返った後は、お待ちかねビンゴ大会です。景品を喜ぶ表情が画面いっぱいに広がりました。色紙に書いた抱負の発表はテレビやスクリーンに映る俳優のよう。まるで全体行事のようでした。今後も工夫し、行事を企画したいと思います。　林田 和子

あかつき共同作業所　クリスマス会

コロナ対策が継続する状況でしたが、仲間から「クリスマス会がやりたい」と要望があり、仲間と職員で実行委員会を立ち上げて話し合いをしました。プロの歌手の方にボランティアでおいで頂けることになり、仲間と手作りのうちわやボンボンも用意しました。

当日のコンサートは感染対策を考えて、二つの部屋に分かれての開催になりました。それぞれの部屋で 20 分ずつという短い時間でしたが、手作りのうちわ、ボンボンも活躍し、盛り上がりました。

また全館放送を利用して、仲間全員でのビンゴ大会も行い、別の部屋にいる仲間とも時間を共有する事が出来ました。黙食、短時間等、感染対策の制限がある中でしたが、寄付で頂いたケーキを食べることもでき、喜ばれていました。　山本 良美





寅年の今年も元気に

年末・年始の取り組み

福祉村 第２ゆたか希望の家





第２ゆたか希望の家では毎年、年末にお楽しみ会を開催します。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、密を避けながら行いました。

午前は本館にて、ハウス単位の少人数で３つのゲームを楽しむ会を企画し、各ハウスでは、サンタからクリスマスプレゼントが配られました。

昼食は皆さんのリクエストメニューが盛りだくさんの豪華なお弁当。今年は初めてローストビーフも加わり、皆さん満足されていました。

午後からは、全館放送でクリスマスソングをかけ、思い思いに皆さんが楽しく歌われました。最後にクリスマスケーキとシャンメリーやジュースを頂きました。全体で集まることはできませんでしたが、楽しい時間を過ごす事ができました。

藤榮 一恵

グループハウスなぐら





なぐらにサンタがやって来た

今年もみんなが楽しみにしているクリスマスの季節がやってきました。グループハウスなぐらでは１年を締めくくる一大イベントです。コロナ禍で中止や縮小された行事が多い中、無事開催することができました。食事はオードブル形式ではなく、ランチプレートで配食し、ゲームは一人ひとりが楽しめるように、くじ引きや的当てにするなど感染対策をしっかり行った上での開催でした。

当日は、仲間と職員のコンビによる漫才や職員有志による大道芸などが披露され、大変盛り上がりました。最後には、車椅子に乗った赤鼻のトナカイとサンタさんがみんなにプレゼントを配り、盛況のうちに閉会となりました。

コロナ禍である今だからこそできることを、仲間と職員が一丸となり、みんなで作り上げた楽しい会でした。

斉藤 純子

事業所みどり

コロナ禍の忘年会



事業所みどりには４つのホームがありますが、12月26日に忘年会を行いました。今回はコロナのため、各ホームでの取り組みとなりました。企画はホームごとに職員と仲間で話し合い、ゆったり過ごす、カラオケや職員の弾き語りで歌を楽しむ、ペットボトルボウリングで活動的に楽しむと様々でした。



いつもより豪華なお昼ご飯を食べ、オンラインにつないで他のホームの仲間との交流と盛りだくさんな一日でした。普段めったに会うことのない仲間も多く、しゃべり足りない様子の仲間もいたほどです。今年の忘年会は「みんなで集まってできるといいな」と切に願います。

冨永 珠代

2021年丑年もよく頑張りました！

事業所あつた





夕食は昨年と同様にオードブルを注文しました。仲間の好きな手巻寿司・チキン・ポテト・サーモン巻き等々、豪華なメニューでしたが、残念ながら自室での個食となりました。

食事後、白鳥・太陽とそれぞれリビングに集まり、マスクをつけた状態でリモートクリスマス会が始まりました。クイズ形式で２択問題が出題され「今年の新入職員の変わった資格は？」（答えは象使い）、「来年の干支は？」など、一問一問正解が出る度に「いぇーい！！」と盛り上がっている様子がありました。

クイズ終了後はパソコンの前で「おーい、〇〇さーん」と手を振ったり、「〇〇さんおるか！？」と尋ねあってみたり、リモートながら交流を深め、楽しい会となりました。

東 諒

みらいろ





初詣に行きました
～みんな元気でお仕事ができますように～

１月５日新年会で、津島神社に参拝に行きました。「みんな元気でお仕事ができますように」と祈願し、境内で写真をパシャリ。皆さんの素敵な笑顔が見られました。昼食はＢ型事業所に併設された「cafe KEYS」を貸し切りにして食事をしました。メニューはカフェいち押しの“れんこんバーガー”。大きな口を開けて美味しそうに食べる姿が印象的でした。

感染対策として班ごとで移動し、参拝と食事の時間もずらして行いました。また、マスク、手洗いと消毒の徹底、食事時はカフェの協力もあり、アクリル板の設置もしていただき、無事に終えることができました。

久しぶりの外出行事であったため、仲間やご家族からも喜びの声が届きました。年末にはクリスマス会も開催しました。いつ感染が拡大するかもわからない中ですが、常に班単位で行動し、その中でできることを考え取り組んできました。

髙橋 寿允

つゆはし作業所　今年も元気にスタート！





１月４日に仕事始めの会を行いました。まずは各班をまわって所長からの「仲間みんなが、元気に出勤してきてくれてよかったです」という新年あいさつから始まりました。

今年は寅年。年男の加藤さんと年女の池野さんから、おみくじとお菓子の“福”をいただきました。「大吉だー！」と嬉しそうに体で表現される仲間もいました。また、書き初めでは悩みながら抱負を書かれる仲間、「文字に込められた願いが叶うといいな」と思いました。

コロナ対策の面では、昨年に引き続き現場ごとで会を行いました。手指の消毒やアクリル板の設置は仲間が自分から行う様子が見え、健康を守るための意識ができているように思えました。

キラキラ輝く笑顔と一緒に元気に新年を迎えられてよかったです。

岩田 尚子

今年最初の設楽福祉村キラリンとーぷ便りを紹介します

設楽福祉村キラリンとーぷ便り

キラリン

(福) ゆたか福祉会
2022年 1月 1日発行
設楽福祉村
キラリンとーぷ
Vol. 20

〒441-2432 北設楽郡設楽町東納庫字松山6-2.3 Tel:0536-65-0370 Fax：0536-65-0377

デイサービスでは「季節の創作活動」の取り組みを行っています



デイサービスなぐらでは、2021年の初めは干支の牛を作りました。皆さんがそれぞれ丸い容器に和紙を貼り「耳はどの辺に付けようか」「鼻はどの辺に貼ろうか」と悩みながらも、表情豊かな牛が出来上がり、皆さんとても嬉しそうな顔をしていらっしゃいました。

3月は雛飾り、5月の節句には鯉の滝登り、七夕では「何をかこうかな」と悩みながら思い思いの言葉を短冊に書き、笹の枝に結び付けました。

クリスマスの飾りでは、皆さんの「どんな色がいいかなぁ」と好きな色の組み合わせでリースを作りました。



その上からリボンや飾りを「どこがいいかなぁ」「手についちゃった」などと言われながら悪戦苦闘して貼ってみえましたが、とても素敵な飾りが出来上がり、皆さんの何ともいえない笑顔が印象的でした。

これからも皆さんが楽しんで創作活動をして頂けるように支援して行きたいと思います。

みんな大好き!「お寿司の日」

キラリンとーぷでは、お楽しみメニューとして年に数回、お寿司が提供されます。

利用者さんにとっては、普段と違う雰囲気で大好きなお寿司を楽しめる好評の企画です。





コロナ前のように”職人さんが目の前でお寿司を握る“ことはできませんが、厨房で本格的な握り寿司を作っていただいています。

今後も利用者さんが楽しめる、ゆたかな食事の提供を続けていきたいと思います。

4年ぶりに

自治会連合会と法人との懇談会開催





自治会連合会では２０２０年10月に「コロナで困っていること」というテーマで法人と懇談を行っていますが、２年に１度の定例懇談会としては、今回が４年ぶりの開催となりました。

懇談会に向け各自治会では、『給料・仕事のこと』『職員のこと』『建物・施設のこと』『制度のこと』『コロナ関係のこと』『災害対策のこと』の６項目についてアンケートを取り、集約を行いました。また11月に行った自治会連合会定例会では、どの項目をどの自治会が報告するのかを分担し、当日に臨みました。

オンラインで行われた懇談会では、ズームの機能を活かした報告をする自治会もあれば、みんなで並んで座り、順番に報告する事業所、プラカードなどを用意して報告する事業所と、報告の仕方も様々でした。中でもリサイクルみなみ作業所は、「どんぐりコロコロ」の替え歌「コロナコロコロ」を歌って場を盛り上げてくれました。どの自治会の方も真剣に訴えていました。

理事長の参加は挨拶のみとなりましたが、法人代表で後藤理事が皆さんの訴えを聞き、項目ごとに一つ一つ丁寧に返答をしました。また「各事業所の所長さんとやり取りをしていただくような内容もある」と、伝えられました。今後は、事業所ごとでの懇談会も行っていきたいと思います。所長の皆さん、よろしくお願いします。

今回の懇談会開催にあたり、自治会連合会の担当として、各自治会の要望や意見などを集約させていただきました。改めて皆さんが「日々、いろいろな思いを抱きながら生活をしているのだな」と感じることができました。こういう懇談の機会があり、意見を出して交流できることは大切だと思いました。

自治会連合会担当
ふれあい共同作業所　宮園 誠司

各自治会から共通して出された要望

『給料・仕事のこと』	「お給料を増やしてほしい」
『職員のこと』	「職員を増やしてほしい」
『建物・施設のこと』	「利用していて不便な個所の改善」
『制度のこと』	「ヘルパーさんを増やしてほしい」
『コロナ関係のこと』	「早くコロナが終わって外に出て色々したい」
『災害対策のこと』	「災害対策が不十分なので不安」

今回もオンラインで

フエ科学大学2期生 介護援助技術講習 開催

ケアサポート宝南　岡山　加代子



今回で2回目となる介護援助技術講習は、2022年1月17日から21日の5日間、4人の生徒さんが参加され行われました。

日本と同様、ベトナムはコロナウイルス流行の全盛期で、この時期、町はロックダウンがされ、各生徒は自宅からの参加となりました。また生徒さんの1人は家族がコロナに感染し「自宅でもマスクをしていないといけない」「自宅から出られない」という状況下での受講でした。愛知県でもこの時期は1,000人を超える感染者が発生し、講師陣も「今回の授業は自宅からの参加になるのではないか」という心配をもったタイミングでした。

講師は今回が初めての参加となった名古屋ライトハウスからと昨年に引き続き愛光園とゆたか福祉会から通訳含め3名、計5名の体制で臨みました。

1日目は「介護の基本」と「コミュニケーション技術」。生徒さんたちと講師陣の自己紹介を実施しましたが、特徴として「海外に興味があり、社会福祉を学び自国で役立てたい」という強い目標を持っているように感じました。交流では日本文化の紹介やじゃんけんをしたり、指の体操などを一緒に体験しました。

2日目は「移動」と「食事」。「移動」では杖になるような棒を準備してもらい、麻痺の人の移動体験を実施しました。誤嚥体験ではそれぞれ飲み物を準備し、上を向いて飲んでみる行為で経験しました。お互いがスマートフォンを活用し、移動しながら画面越しで確認をしました。

3日目は「排せつ」と「衣類着脱」の介護。巻きおむつの装着の仕方をカメラでやってみせたり、上下肢の麻痺を想定した介護の方法の説明を行いました。笑いがこぼれる場面もあり、日に日に生徒さんたちは、楽しみながらの学習に馴染むようになっていきました。

日本語もたびたび感想として気軽に発するようになり、片言で「先生またね」と話されたり、ズームのチャットを活用して平仮名で「せんせいすごい!」と言葉を打ったりという姿も見られるようになりました。

最終日は「学習の習熟度の確認」。日本語によるテストを実施しましたが、皆さん8割以上は正解されており、一定の理解ができたことを感じました。午後からは交流の時間で「ホワイトボードで絵を描いて何かを当てるゲーム」や折り紙、借り物競争を行いました。

最後は日本での仕事へのイメージを持っていただけるように各法人の紹介ビデオを上映しました。最終日には緊張が解きほぐれ、一体感を持って講習を終えることができました。「早くコロナが収束し、一緒に福祉の仕事に携われたら」と感じた講師陣でした。



一体感のあった交流会

日誌 12月

3日(金) 食と健康推進委員会
10日(金) 新所長研修
12日(日) 2022年度「内定者交流会」
13日(月) 事業運営推進会議/懲罰委員会
15日(水) 新副所長研修
16日(木) 事務事業推進委員会
17日(金) 基礎研修PARTⅡ(第1G)
18日(土) 評議員会
22日(水) 所長会議
23日(木) 基礎研修PARTⅡ(第2G)
24日(金) 広報・ホームページ編集委員会
27日(月) 研修部会議

ありがとうございました

※利用者・保護者・職員の皆さんからも多くのご寄附をいただきました。

一般寄附（12月・1月）

順不同 敬称略

宝南学区女性会
美容院ルノワール
中日印章印刷株式会社
宗教法人明拝教会
水田 好貴　板原 克介
臼井 公子　室井 宏文
土井ちづ子　叶原 生人
堀池 育志　清時 忠吉
赤星 俊一　布藤 恭子
山崎 恭裕　豊浦 晶子
中村 邦夫　野崎 英俊
吉野多賀子　石田 梓
池田 昭子　花田 靖子
塚本 道夫　永井 満
星野 信子　梶田 昭市
伊藤 澄子

賛助会員新規加入者・更新者ご芳名一覧

（11月29日～12月31日手続き分）
順不同 敬称略

赤門ウイレックス株式会社　石崎 満
㈱エステム　金原 匡志
㈱想設計　大野 俊秀
ブロン電機㈱　岩崎 武利
宮川 統子　鈴木 鐵也
西野 裕之　池田 昭子
畠山 由美　中村美代子
細川志喜子　木戸 幸子
檜山 桂子　赤星 俊一
丹羽 幸吉
廣島 和枝

表紙の作者紹介

「冬の夜空」ワークセンターフレンズ星崎　生活介護現場



生活介護現場では、月に1度「アート活動」をおこなっています。なかまたちの「表現する力」「創造する力」を大切に、毎回テーマを変えて取り組んでいます。

今回は、真っ黒な画用紙を使って「冬の夜空」をイメージしながら、共同制作をしました。絵の具を手のひらに塗って手形をおす人、好きな絵を描く人、筆の先に色をつけて画用紙に向かって色を飛ばす人、折り紙を細かく切って貼る人…やり方はさまざまですが、描く場所を譲りあったりしながら、みなさんで協力してステキな作品ができあがりました。

コロナ禍で制限のある中ですが、できること・楽しいこと・またやりたいと思えることを模索しながら、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。

広報・469号

2022年2月号(2022年2月10日発行)
定価1部100円
法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 ／ 社会福祉法人ゆたか福祉会
印　　刷 ／ 株式会社東海共同印刷

法人協力会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協力会費 ＝ 年間1口6,000円、
賛助会員（個人1口3,000円、企業団体等1口5,000円）

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

・三菱UFJ銀行　柴田支店　普通預金 291-884
・中京銀行　鳴海支店　普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会

式を迎えました



ゆたか作業所

春日井 創（かすがいはじめ）さん

軍手・タオルたたみ・
袋運びがんばりたい！
皆がほめてくれてうれしい



南養護学校在籍時に、ゆたか作業所で何度か施設実習を経験された創さん。卒業後に入所し、軽作業現場で働きだしてもうすぐ２年になります。いつも明るく、元気に動きまわっています。

１月 22 日、作業所で「新成人を祝う会」を開催しました。準備をする中で創さんは、〝成人になることは？〟について考え、頑張っている軍手の重ね、タオルたたみ、重くて大きい袋運びの仕事の写真を自分で選びました。当日はこの写真をスクリーンに映し出し、仲間たちと共に働く中で、一歩一歩たくましく成長している姿を皆に見てもらいました。〝成人になる〟ということを、創さんは「作業をがんばること」と考えているようでした。

参加されたご両親も、皆と協力して仕事している姿を見て「大人になったんだなぁ」「すごいなぁ」とほめていました。皆からお祝いと励ましのメッセージをもらい、嬉しくて笑顔が輝いていた創さんです。これからもがんばれ！！

つゆはし作業所

小出 真里（こいでまり）さん

ご飯をいっぱい食べます！
～心も体も大きく～



つゆはし作業所に入所してから２年。当初は緊張していた小出さんも現場で笑顔が増え、感情が豊かになりました。今回の式典でも緊張していたご様子でしたが、お祝いのプレゼントをもらったときは素敵な笑顔。つゆはしの大先輩から祝福と共に、期待のこもった大人へのバトンを渡されたような雰囲気が感じられ印象的な場面でした。

20 歳の誓いでは「ご飯をいっぱい食べます！」としっかりとした口調で宣言されました。なんだか「クスッ」と笑える目標ですが、これからも大好きなご飯を食べ、仕事に対する姿勢や気持ちの面で成長していけるよう共に頑張っていきましょうね！

〈 両親からのメッセージ 〉

真里ちゃん成人おめでとう♡

思い出の写真を見ると「大人になったんだなぁ」って感じる反面、「ずっと純粋な真里ちゃんがいるなぁ」って思う時もあります。真里ちゃんの成長はゆっくりしているけど幸せに過ごしてほしいと願っています。そのためにもお父さん、お母さんは全力で支えていきますね。

小出 昌仁　亜紀

わたしたち成人

トライズ　永田（ながた） 結羽（ゆうは）さん





南養護学校卒業後、社会人デビューした永田さん。トライズでは清掃作業に取り組み、床のダスター・モップや、洗面などをお願いしています。各現場の作業が終了した 12 月 30 日、一足早くトライズで成人のお祝いをしました。

ご本人には直前まで秘密で準備をすすめ、当日サプライズでお祝い！みんなの気持ちがぴっしり書き込まれた寄せ書き『トライズ友人帳』（大好きなアニメ「夏目友人帳」風に）と、お母様と相談したプレゼントの通勤用リュックを受け取り、恥じらいつつも笑顔があふれていました。

これからもみんなと一緒に色々なことにチャレンジし、ますます笑顔いっぱいの人生を歩んでくださいね。トライズ一同応援しています！



ふれあい共同作業所



岡（おか） 郁也（ふみや）さん

明るく元気に
なんでもトライ！

げんき班に所属されている岡さん。〝ふれあい〟に通いだして 2 年近く経過しましたが、現場に気心の知れた仲間もでき、毎日笑顔でコミュニケーションをとられています。

また苦手だった場面転換時の動き出しも、少しずつできるようになったり、作業も先輩の仕上げた完成品を見ながら、丁寧に取り組むことに挑戦されています。着実に成長されていることを実感する日々です。

これからも元気な笑い声と挨拶で、現場を明るくしてくれるムードメーカーとしての活躍を願っています。

〈お母様からのメッセージ〉

20 年あっという間ですね。毎日見ていると気がつきませんが、いつのまにか背が同じくらいに。力も強くなり、でも優しい子に育ってくれました。



柴田（しばた） 陽貴（はるき）さん

これからも笑顔の
たえない成長の日々を

柴田さんは南養護学校時代の実習をきっかけに、卒業後より通所を開始されました。はじめは作業が苦手な様子でしたが、この 2 年で少しずつ集中力がつき、現在は軍手の 3 枚並べにチャレンジしています。

また、散歩や歌などの好きな活動を通じて、仲間の皆さんとの交流も生まれ、明るい笑顔が見られるようになりました。職員も日々の様子や興味関心を知る中で、理解を深め、コミュニケーションが取れるようになり、信頼関係が出来てきたように感じます。

「ふれあいに行くのがとても楽しみで、毎日笑顔で玄関に向かっていく」「これからも病気をせず、一歩ずつ成長していって欲しい」（お母様談）という柴田さん。これからも元気に活き活きと活動に参加し、ご自身のペースで成長していってください。

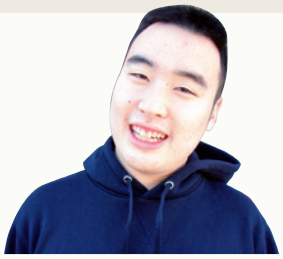
わたしたち 成人式を迎えました



おめでとうございます！



みらいろ



辻（つじ） 健太郎（けんたろう）さん　**これからも一緒に頑張っていきましょう！！**

１月７日自治会主催でお祝い会を行いました。コロナ禍の為、班での開催となりましたが、みんなで色を塗って作成した〝羽織袴の顔出しパネル〟から主役の辻さんが顔を出して記念撮影。仲間・職員からの寄せ書きを受け取り、笑顔で喜んでいました。

養護学校を卒業後、〝みらいろ〟を利用されて２年目となります。最初は慣れない環境に戸惑うこともありましたが、今ではしゃばん班の先輩として、今年入ってきた後輩を引っ張ってくれています。洗濯の作業はなんでもできるので、みんなからも頼りにされています。

これからも一緒に頑張っていきましょう！！



〈 お母様からのメッセージ 〉

みらいろに通う前は、意思表示やお話も上手く伝える事が出来なかったのですが、今では自分からお話する事も増えて嬉しく思っています。これからも健康第一で笑って楽しく過ごして欲しいです。

ワークセンターフレンズ星崎



岡田（おかだ） 育歩（いくほ）さん　**働く力をつけて大人の扉を開いた育歩さん！ すてきな笑顔と明るさで輝く未来へ！**

学校を卒業されて約２年、フレンズ星崎でダイレクトメールの仕事に励んでいます。今では様々な工程を正確に速くこなせるようになり、見事な「仕事人」となってきました。その働きぶりは仲間からも認められています。仕事以外ではダンスや歌が得意で周囲を盛り上げ、みんなから慕われています。

１月 19 日に、現場で成人のお祝い会を行いました。お母様からのお祝いのお手紙を添えて、小さいころからの写真や、振袖を着て地域の成人式に出られている映像をみんなで見ました。自治会からは、寄せ書きとネーム入りのボールペンを贈呈し、最後に、主役の育歩さんのダンスで、楽しく節目を祝うことができました。

ゆたか通勤



今年は成人の方が２名いらっしゃいました。１月９日の全体会で、仲間の会からお祝いの花束の贈呈を行いました。他の利用者から「おめでとう」と花束を渡され、嬉しそうにしている姿が見られました。

感染症対策のため、全員で集まってのお祝いはできませんでしたが、それぞれ新成人の抱負を一言ずつ話して頂きました。おひとりは「部屋の掃除を頑張りたいです」と話され、もうひとりの方は「片付けを頑張ります」と、おふたりとも苦手な事を頑張りたいと話されました。

これからも、仕事に、生活に将来の目標に向かって頑張っていって欲しいです。